



北海道では、積雪寒冷地に関連する実証、地域特性を活かしたモビリティ実証、物流の現場での実証などが行われています。

(掲載事例の他、自動車関連企業等による実証試験が多数実施されています)

積雪寒冷地に対応した自動運転技術の開発

実施：経済産業省

場所：苫小牧東部地域、札幌市、芦別市、士別市

期間：2017-19年度

○白線などの目印が見えない雪道でも自律的に判断し、安全走行できるシステム「snow-SLAM」の構築を目指す(冬期走行試験も実施)

○過疎地域の交通弱者対策としての活用を想定



熱源感知センサーなどの計測機器を複数搭載

除雪現場の省力化による生産性・安全性の向上に関する取組 (通称：i-snow)

実施：国土交通省北海道開発局

場所：知床峠(冬期通行止め)、狩勝峠(一般道)

期間：2018年度-(継続中)

○準天頂衛星「みちびき」に対応した受信機、運転支援ガイダンスと投雪装置の自動制御システムを搭載したロータリー除雪車の実証実験等を実施



地域交通実証

実施：石狩市・道・日本工営ほか

場所：石狩市

期間：2019年10月

○高齢化が進行する地域の中央に位置する公園と病院、商業施設の集積地とを結ぶルートで、地域住民参加による実証を実施

○住民アンケートや運行実施による成果を元に、道内他地域での自動運転導入に向けたモデルを構築



地域交通実証

実施：SBドライブ (現：BOLDLY)

場所：上士幌町

期間：2017年10月,2018年10月,2019年10月

○役場を核としたコンパクトな町づくりを進めるため、新たな交通ターミナルと役場周辺を結び付けるルートでの実証を実施

○町民の試乗・アンケートを実施

○2019年は公道実証実験を実施



社会受容性向上

実施：群馬大学・NTT・NTTデータ

場所：札幌市都心部

期間：2017年10月、2019年10月

○札幌市内で初となる一般市民を対象とした試乗体験会を実施。



道の駅等を拠点とした自動運転サービス実証

実施：国土交通省北海道開発局

場所：大樹町

期間：2017年12月、2019年5月～6月

○高齢化が進行する中山間地域内の生活の足や物流確保を目指す

○2019年には路線バス等の広域交通と連携し、全国で初めて自家用有償旅客運送により料金を徴収する長期間(35日間)の実証実験を実施



自動運転トラックによる農産物輸送

実施：UDトラックス・日本通運・

ホクレン農業協同組合連合会

場所：斜里町

期間：2019年8月

○農産物の輸送を想定し、製糖工場周辺の公道と構内とを結ぶルートで実施

○大型トラックとして全国初となるレベル4での実証を実施



ワンストップ相談窓口は、上図のような実証実験を支援してまいります！